

さくら市議会だより



2006.8.1
〈平成18年〉

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6177 FAX486-2508



〔仮称〕佐倉西部自然公園用地〔下志津・畔田地先〕

6月定例会

佐倉市アスベスト含有成形板を使用する建築物等の解体工事等の届出等に関する条例を制定

〔仮称〕佐倉西部自然公園の用地取得など17議案を可決

6月定例会は、6月5日から23日までの19日間にわたり開かれました。今定例会では、「平成18年度佐倉市一般会計補正予算」など議案14件、諮問3件が提出され、すべて原案のとおり可決・同意しました。

請願・陳情については「米国産牛肉の拙速な輸入再々開は行わず、BSE(牛海綿状脳症)の万全な対策を求める請願」など5件、議員発議については「教育基本法改正案の廃案を求める意見書」など2件を提出し審議しました。

なお、議案第14号「土地取得について」は、表決に先立ち活発な質疑・討論が交わされ、賛成多数で可決しました。

5月臨時会

議長に 檀谷正彦議員
副議長に 小林右治議員を選出

5月臨時会が5月18日に開かれ、「佐倉市手数料条例の一部を改正する条例制定について」など議案5件が提出され、すべて原案のとおり可決・承認しました。

また、正・副議長の選挙が行われ、議長に檀谷正彦議員、副議長に小林右治議員を選出、その他各常任委員、議会運営委員の選任を行いました。



こばやしゆうじ
小林右治 副議長
第48代副議長。平成15年4月初当選以来、1期。
(所属会派：さくら会)



だんやまさひこ
檀谷正彦 議長
第50代議長。平成11年4月初当選以来、連続2期。
第46代副議長を務める。
(所属会派：さくら会)

表彰



中村克几 議員

◆全国・関東・千葉県の各市議会議長会より特別表彰
議員在職35年 中村克几 議員

議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し表彰されました。

5月臨時会の議案と議決結果 (議決 5月18日)

・右欄は本会議の議決結果 ◎全員賛成、○賛成多数

市長提出議案 ※丸数字は議案番号			
佐倉市手数料条例の一部を改正する条例制定について			
①	石綿による健康被害の救済に関する法律等の施行に伴い、同法の規定により条例に定めて、受給資格認定申請に必要な戸籍事項の証明の手数料を無料にするもの。	原案可決	◎
専決処分の承認を求めることについて			
②	平成17年度佐倉市一般会計補正予算であり、南志津小学校体育館改築事業に係る国庫支出金及び地方債の確定に伴い、歳入歳出それぞれ962万7千円を追加補正したもの。	承認	○
専決処分の承認を求めることについて			
③	地方税法等の改正に伴う、佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定。平成18年4月1日から施行となる部分に係る改正であり、主な内容は、生活保護基準額の改正に伴う、個人市民税の均等割及び所得割の非課税限度額の引下げなど。	承認	○
専決処分の承認を求めることについて			
④	地方税法の改正に伴う、佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定。固定資産税と同様に、平成18年度の評価替えに伴い、土地に係る平成18年度から平成20年度までの各年度分の都市計画税の負担について、平成17年度以前に引き続き、税負担の急激な上昇を抑制するための調整措置を講じたもの。	承認	○
専決処分の承認を求めることについて			
⑤	地方税法等の改正に伴う、佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定。平成18年4月1日から施行となる部分に係る改正であり、主な内容は、平成18年度に課税する個人市民税から65歳以上の方の公的年金等控除額が引き下げられたことに伴い、平成17年度分の個人市民税について公的年金等控除の適用を受けていた方に対し、国民健康保険税の急激な負担増を緩和するための措置。	承認	○

市政に関する

一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたって質問することを行います。

6月定例会では、12日から15日までの4日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(9月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム(9月配信予定)をご覧ください。

代表質問

●集中改革プランについて

①佐倉市では、これまで3次にわたる行政改革を実施しており一定の成果をおさめていると思うが、今後どのような方策により行政改革を進めていくとしているのか。

②佐倉市は、人口規模に比べて既にかなり少ない職員体制であると思うが、市民サービスの低下を招かずに職員の削減は可能なのか。

③第4次の集中改革プランでは、年度別の目標設定や、事務作業ごとに月単位でスケジュール設定を進めていくという工程管理手法を導入し、効率的に実施していく。工程管理手法は、最新の進捗情報が詳細かつ全庁的に共有できるため、組織としてより的確な指示が可能となる。また詳細な活動状況が記録されることで、次の行革や日常の事務改善の参考として活用できる。今後は、こうしたメリットを生かして行政改革の実効性をより高めていくとともに、工程管理の庁内組織である集中改革プランフォロー会

さくら会

中村克凡

かして行政改革の実効性をより高めていくとともに、工程管理の庁内組織である集中改革プランフォロー会

児童を除去し、小学校1年生から3年生までを対象としているが、女性の社会進出の促進と子育て支援という観点から、対象児童を小学校4年生から6年生までに拡大する考えはないのか。

児童を除去し、小学校1年生から3年生までを対象としているが、女性の社会進出の促進と子育て支援という観点から、対象児童を小学校4年生から6年生までに拡大する考えはないのか。

●子育て支援について

①子育てに対する経済的な支援を行うという立場から、市独自の特別な手当を支給する考えはないのか。②保育園の待機児童を減少させるために、どのような施策を考えているのか。

③子育ての支援事業全体を捉える中で、特色のある事業は。

④今年度から乳幼児医療費の助成を拡大し、経済的負担の軽減を図っている。⑤市有地を利用して認可保育園の誘致を進めるなど、民間活力を生かして保育定数の増を図っていききたい。

公明党

神田徳光

③小児初期急病診療所が佐倉市に開設され、子供を持つ方に安心の拠点として利用いただけるようになった。

●災害対策について

①水害を教訓にして、高崎川の表町、鍋木町地区において市が取り組んできた水害対策は。

②高崎川流域の配備体制については、水防班の増強、排水ポンプ場の監視、避難誘導体制の拡充等について。事前の応急的な水害対策については、排水作業及び土のうの手配等を行い、高崎川の水位を基準とした避難勧告指示基準を設け、ケーブルテレビによる放送や携帯電話のメール配信による情報提供を行っている。高崎川周辺の浸水被害対策としては、9カ所の排水ポンプ場に19基のポンプを設置したり、寺崎都市下水路の改修等を実施した。

●容器包装リサイクル法の課題について

①検査されているごみの有料化は、行政改革で財政負担を減らし、受益者負担により財源を増やそうとするもので、発生抑制の視点にたっていない。審議会での形ばかりの意見を聞くだけという手法や、どこに反映されたのかかわからないパブリックコメントのとり方も再考し、P-Iの手法で取り組んではいかぬか。

②健全な市街地形成のために、民間事業者であっても土地所有者の一員であり区別する必要があるという判断に基づき3分の1条項を撤廃した。組合からの要望があったが、企業からはない。

●市内循環バスについて

①交通不便地域解消と公共施設を結ぶ市内循環バスの早期運行を望むが、関係機関との話し合いの経過と今後の見通しについてお聞きする。

②本年度中に計画の提示をいただける見込みで、内容と方法に無制限に介入の方向、これらは憲法を変えて海外で競争する国をまくるものとして、そして競争と選別の教育で勝ち組、負け組に分け弱肉強食の経済社会に順応する人づくりをねらうもの、このような企ては絶対に許してはならないものと思うが如何か。

●教育基本法改定について

①子どもたちの未来、日本の進路にかかわる国民的大問題。改定案の問題点について所見を質す。改定の理由に時代の要請に添えるためとしているが、現行法のどこが時代に合わないのか、その事実も根拠もあげられない。様々な危機の根源は基本法の理念を棚上げし、競争と管理の教育を押しつけてきた所にこそあると思うが如何か。改定は前文から憲法と教育基本法が一体であることの一語を削除し、平和を希求する人間の育成の理念を取り去っている。又、国家権力が教育の

内容と方法に無制限に介入の方向、これらは憲法を変えて海外で競争する国をまくるものとして、そして競争と選別の教育で勝ち組、負け組に分け弱肉強食の経済社会に順応する人づくりをねらうもの、このような企ては絶対に許してはならないものと思うが如何か。

戦後の教育は現行の教育基本法に基づきその理念の実現を目指して児童生徒一人一人の能力の向上、個性の伸長のため実践とたゆまない努力をしてきた。よって教育現場で生じている様々な課題が競争と管理の教育を押しつけてきたということに原因があるとは思えない。改正は、日本国憲法に述べられている理念、理想のさらなる実現という方向で今日、教育とはどうあるべきかを一層明確にしてい

日本共産党

戸村庄治

和を希求する人間の育成の理念を取り去っている。又、国家権力が教育の

●市の活性化について

①佐倉市の活性化の方策として観光イベントの開催等を主にやってきたが、バブル景気の崩壊後、経済の長期的な低迷とそれによる市財政の基盤の弱体化により、その方策は方向転換を余儀なくされたと言えるのではないか。まちの活性化とはどういう状況をとらえて活性化したまちと市長は考えているのか。また、そうしたまちにするためにはどういった行政策を今後考えているのか。

②これまでの取り組みは景観・まち並みの整備、都市基盤整備、集客するための商業施策、観光施策が中心であり、都市の機能を高めるという点では一定の意義があったものと考えられる。こうした施設やイベントを通じた活性化という面では、一過性に終わり継続しないという傾向が見られる。そこで内容的な活性化策を検討していかなければいけない。今後と

市政会

櫻井康夫

い傾向が見られる。そこで内容的な活性化策を検討していかなければいけない。今後と

用語解説

※【P I (Public Involvement)・パブリックインボルブメント】
政策決定や公共事業の計画策定において、国民や地元住民が意見を表明できる場を設け、その意見を計画に反映させていくことです。日本では道路施策の策定時にPIの思想が取り入れられたのを機に、徐々に他分野へも広がりつつあります。

も都市基盤の整備、公共交通網の整備等進めながら住みやすいまち、魅力のあるまちをつくりていきたい。また、我がまちにはこういうものがあるということと市民の皆さんの言葉として語っていただくことでまちの魅力は高まっていくと考えている。

知名度の向上については普段からこれと決めて根気よく長く続けることが大事なことだと思。それはあらゆる面で多くの効果をもたらしてくれることになるため、佐倉市でも実行すべき。何を売りにしようか、という点に関してはいろいろ意見があると思うが、市長は佐倉市の知名度の向上という点についてどのような考えを持っているのか伺う。

市長会等で自分のまちを説明するときは、国立歴史民俗博物館のある佐倉市です、ということを示し紹介すると、行ってきたことが多く、今こういいう企画や展示をしております、ということを極力PRするようになっている。当市はチューリップがたくさん咲くまち、あるいは国際花火大会をやっているまちということでの知名度はあったと思う。佐倉朝日健康マラソンを通じて県外からお集まりの方々もいらしたという面で、知名度は上がっているものと考えている。

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間2時間、()内は会派名

中村 克几 (さくら会) ※

- 1 政治姿勢について 2 福祉関係について
3 建設関係について 4 スポーツ振興について

神田 徳光 (公明党)

- 1 子育て支援について 2 災害対策について
3 2007年問題について 4 教育問題について

道端 園枝 (市民ネットワーク)

- 1 憲法改悪・教育基本法の改悪について
2 国勢調査実施状況から見えてくる課題と今後の方向性について
3 改正容器包装リサイクル法案の問題点と佐倉市の課題について
4 井野東土地区画整理事業・井野南土地区画整理事業にかかる課題について

冨塚 忠雄 (新社会党)

- 1 市内循環バスについて 2 子育て支援について
3 問題ある教育基本法の改正について

戸村 庄治 (日本共産党)

- 1 教育問題 2 農業問題
3 交通問題

櫻井 康夫 (市政会) ※

- 1 市長の政治姿勢について 2 行政改革について
3 教育問題について 4 顕彰について

個人質問

藤崎 良次

- 1 2015年問題、佐倉市職員の給与、市民への未払い金、新市庁舎建設基金等への市長の政治姿勢
2 市長の市議会への取組姿勢
3 災害対策 4 建設問題

宮部 恵子 (市民ネットワーク)

- 1 下志津・畔田の用地購入に関する「佐倉市政に関し職員が受けた働きかけの取り扱いに関する規則」による「働きかけに関する報告書」は提出されたか
2 下志津・畔田用地の売買契約の金額は市民からの理解が得られる額といえるか
3 佐倉市谷津環境保全指針について

工藤 啓子 (市民ネットワーク)

- 1 市長の政治姿勢 2 介護保険法施行に伴う課題と対応
3 障害者自立支援法の施行に伴う課題と今後の方向性
4 酒々井の巨大ショッピングモール開発に伴う佐倉市への影響と課題

勝田 治子 (新社会党)

- 1 行政改革推進の影響について 2 男女平等施策について
3 市立図書館並びに学校図書館の充実について

長谷川 稔 (公明党)

- 1 東武ストアの撤退と通称志津マインの存続について
2 財団法人印旛郡市文化財センター問題について
3 中志津一丁目マツモトキョシ志津店前の右折レーン設置について
4 県道、四街道上志津線の上志津原地区の冠水問題について

岡村 芳樹 (公明党)

- 1 事件等に対する市と教育委員会の対応について
2 市民との協働について
3 住基カード利活用による市民サービスの向上について
4 国道296号線関連

入江 晶子 (市民ネットワーク)

- 1 印旛沼にかかわる治水問題について
2 水道事業運営の理念と今後の方向性について
3 (財)佐倉市振興協会の今後のあり方について

森野 正 (公明党)

- 1 交通安全対策について 2 児童・生徒の安全について
3 市民に優しい行政について
4 I-32号線の進捗状況と接続する道路の問題について

児玉 正直 (日本共産党)

- 1 医療、福祉問題 2 ゴミ問題
3 開発問題 4 志津駅エレベーターについて

吉井 大亮 (公明党)

- 1 医療問題について 2 建設問題
3 教育問題

山口 文明

- 1 教育について 2 まちづくりについて
3 交通の整備について 4 スポーツの振興について

上記の通告内容は、佐倉市議会会議規則第60条に基づき質問者から議長に文書で通告のあった内容を基に、大項目のみ掲載しています。

個人質問

職員の給与レベルは適切か他 藤崎良次

①これまで、佐倉市職員への給与は国基準に比べ、私の計算では、調整手当て約140億円、基本給で約20億円も多く支払った。今後基本給で約40億円多く払い、合計約200億円となる。今年度の基本給削減効果額は？

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

②ヘルパーの需要は増大し、社会的地位向上が不可欠である。③基金は目的に沿って使いたい。また、現市庁舎は長く使いたい。

医療制度改善の佐倉市への影響について 工藤啓子

医療制度改善関連法が成立した。老健施設、特養等の社会資源が不十分な中で、療養病床の大幅削減は、行き場を失う高齢の医療難民を生み出す。要医療支援の高齢者の生活介護は、市町村の責務となるが、改革により市の医療・介護・福祉制度にどのような影響と問題を生じさせるか、介護保険・国保制度との関わりも含め答弁を求めたい。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

①今年度の職員給与引き下げ効果は6千万円である。

医療制度改善の佐倉市への影響について 工藤啓子

医療制度改善関連法が成立した。老健施設、特養等の社会資源が不十分な中で、療養病床の大幅削減は、行き場を失う高齢の医療難民を生み出す。要医療支援の高齢者の生活介護は、市町村の責務となるが、改革により市の医療・介護・福祉制度にどのような影響と問題を生じさせるか、介護保険・国保制度との関わりも含め答弁を求めたい。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

「男は仕事・女は家庭」という役割意識はまだ根深くある。政策決定の場への平等参画について。また、学校・職場・地域に男女平等参画を広める市政運営上の対応を問う。

下志津・畔田用地購入に関する売買契約額の問題 市民ネットワーク 宮部恵子

東武ストアの撤退と通称志津マインの存続について 公明党 長谷川 稔

大林組が市場価格と主張してきた4億5000万円、市以外に売却した場合、特別土地保有税約3億円は市に納めなければならぬ。

6月定例会の議案と議決結果 (議決 6月23日)

・右欄は本会議の議決結果 ○全員賛成、○賛成多数、△賛成少数

市長提出議案 ※丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号

① 平成18年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ6億7167万3千円の追加、地方債の限度額変更1件を行うもので、予算総額は361億9667万3千円。歳入の主なものは、佐倉市緑環境基金の廃止に伴う繰入金。歳出の主なものは、(仮称)佐倉西部自然公園用地の購入費、新設する佐倉市みどりのまちづくり基金への積立金。	原案可決	○
② 公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定について 会社法の施行により有限会社が廃止となったため、公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律において、職員の派遣先として定めている地方公共団体が出資する営利法人から有限会社が削除されたことに伴うもの。	原案可決	◎
③ 佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について 平成18年3月31日に公布された地方税法の改正規定のうち本年7月1日以後に施行となる部分に係るもの。内容としては、平成19年度から定率減税を廃止するもの、平成18年7月1日から市たばこ税の税率を引き上げるものなど。	原案可決	○
④ 佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について 平成18年3月31日に公布された地方税法の改正規定のうち平成19年度から施行となる部分に係るものであり、条例中に引用している同法の条項を整理するもの。	原案可決	○
⑤ 佐倉市ヤングプラザの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について ヤングプラザを指定管理者による管理とするための規定を整備するもの。	原案可決	○
⑥ 佐倉市中心障害者福祉作業所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について 障害者自立支援法に基づき、心身障害者福祉作業所からサービスを受ける方の費用の負担を定めるほか、南部よもぎの園を指定管理者による管理とするための規定を整備するもの。	原案可決	○
⑦ 佐倉市休日夜間急病等診療所の設置及び管理に関する条例及び佐倉市小児初期急病診療所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について 診療報酬の算定方法が改定され、新たな厚生労働省告示が発せられたことに伴い、各条例中に引用する告示を改正するもの。	原案可決	○
⑧ 佐倉市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例制定について 千葉県信用保証協会の保証条件が緩和されたことに伴い、市が行う中小企業資金融資の要件を千葉県信用保証協会が認めた場合は連帯保証人又は担保を不要とすることに改めるもの。	原案可決	◎
⑨ 佐倉市アスベスト含有成形板を使用する建築物等の解体工事等の届出等に関する条例制定について 労働安全衛生法、大気汚染防止法等の法律において規制されていないものを対象とするものであり、アスベスト含有成形板を使用する建築物等の解体又は改修工事を行う際に生ずるアスベストの飛散防止に関し、解体工事等を施工する者が遵守すべき作業基準、解体工事等の届出義務、市の職員の立入検査などを定めるもの。	原案可決	◎
⑩ 佐倉市みどりのまちづくり基金条例制定について 土地取得を目的とした定額資金運用型の佐倉市緑環境基金を廃止し、特に必要な土地の取得、公園又は緑地の整備、維持及び管理等に要する経費に充てる財源として、資金積立型の基金を設置するもの。	原案可決	○
⑪ 佐倉市道路線の廃止について 大佐倉地先の市道1-252号線の全部及び市道1-253号線の一部をⅡ級幹線市道Ⅱ-11号線の道路区域に編入することに伴い、関連する市道の路線を廃止するもの。	原案可決	◎
⑫ 佐倉市道路線の認定について 大佐倉地先の市道1-252号線の全部及び市道1-253号線の一部をⅡ級幹線市道Ⅱ-11号線の道路区域に編入することに伴い、関連する市道の路線を認定するもの。	原案可決	◎
⑬ 佐倉市道路線の変更について 大佐倉地先の市道1-252号線の全部及び市道1-253号線の一部をⅡ級幹線市道Ⅱ-11号線の道路区域に編入することに伴い、関連する市道の路線を変更するもの。	原案可決	◎
⑭ 土地取得について (仮称)佐倉西部自然公園用地として、畔田、下志津等の土地19万6558.96平方メートルを、3億7734万3540円をもって、株式会社大林組から取得するもの。	原案可決	○
① 人権擁護委員候補者の推薦について 石渡康郎(いしわたやすお)氏を推薦するもの。	同意	◎
② 人権擁護委員候補者の推薦について 加藤浩子(かとうひろこ)氏を再度推薦するもの。	同意	◎
③ 人権擁護委員候補者の推薦について 古市庄八郎(ふるいちしょうはちろう)氏を再度推薦するもの。	同意	◎

請願・陳情 ※丸数字は請願番号、白抜き数字は陳情番号

⑨ 「米産牛肉の拙速な輸入再々開は行わず、BSE(牛海綿状脳症)の万全な対策を求める」請願	不採択	△
③⑥ 安全でゆきとどいた医療・看護をするために、看護職員の人手不足の緊急改善を求める陳情	継続審査	○
③⑦ 地方交付税制度の財源保障機能を堅持し、充実させる陳情	不採択	△
③⑧ 最低賃金制度の改正を求める陳情	不採択	△
③⑨ 下志津畔田用地購入に関する陳情	不採択	△

議員発議 ※丸数字は発議案番号

① 教育基本法改正案の廃案を求める意見書	否決	△
② 「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例(案)」の早期可決を求める意見書	否決	△

梅雨の季節は、やはり気分が晴れません。でも、姥ヶ池の菖蒲はきれいでした。城址公園を例にあげると、日本を代表する風景だ。と外国の友人は褒めてくれます。地方自治も苦しい時代を迎えています。行政の根源的な仕事は何か? 「佐倉モデル」が私達に創れないか! 等と問う中で、その未だ見えてくるのではないでしょう。

(議会報編集委員 清宮 誠)

市議会の活動をわかりやすく伝えるために委員・事務局ともに努力してまいります。地域の体操会は満3年を経過しました。毎朝、沢山の方が参加しておられます。延べ参加人員10万人突破も近いと思えます。具体的成果があらわれるのは5年後と言われますが、これを軸に地域づくりを進めます。体操会の関係者の皆さんに感謝です。

議会報編集委員会座長 白井尚夫

議会百景

議会の構成 各常任委員会の構成が変わりました

◎委員長 ○副委員長



●会派・各常任委員会等 議長 檀谷正彦 副議長 小林石治 平成18年6月7日現在

委員会	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	経済環境常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	議会報編集委員会
さくら会	檀谷正彦、中村孝治、桐生政広、寺田一彦	○櫻井道明、*望月清義、中村克几	○川名部実、押尾豊幸、倉田彰夫	小林石治、○清宮 誠、木原義春	川名部実、押尾豊幸、清宮 誠、○木原義春	清宮 誠
公明党	森野正	神田徳光、*○吉井大亮	岡村芳樹	長谷川稔	○森野正、長谷川稔	岡村芳樹
市民ネットワーク	工藤啓子	*入江晶子	道端園枝	宮部恵子	工藤啓子	宮部恵子
新社会党			勝田治子	*富塚忠雄	勝田治子	富塚忠雄
日本共産党	兒玉正直	*戸村庄治			兒玉正直	兒玉正直
市政会			*櫻井康夫	○白井尚夫	櫻井康夫	白井尚夫
会派に属さない議員	○山口文明			藤崎良次		

議席番号順、*会派代表者、◎委員長、○副委員長

●組合議会・委員会等

印旛衛生施設管理組合	佐倉市八街市酒々井町消防組合
宮部恵子、木原義春	白井尚夫、倉田彰夫、寺田一彦
印旛利根川水防事務組合	印旛郡市広域市町村圏事務組合
清宮 誠	檀谷正彦
佐倉市、酒々井町清掃組合	佐倉市監査委員
森野正、戸村庄治、望月清義	桐生政広
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	佐倉市農業委員
押尾豊幸、富塚忠雄	中村孝治、長谷川稔

9月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

◆初日 9月4日(月) 午後1時から
◆一般質問 9月11日(月)~14日(木) 午前10時から
◆常任委員会 9月15日(金)、19日(火)~21日(木)
◆決算委員会 9月22日(金)、25日(月)~27日(水)
◆最終日 9月29日(金) 午後1時から

☆日程は変更になることもありますので、事前にお問い合わせください。 議会事務局 ☎484-6279

お茶の間でもご覧になれます

CABLENET296の5チャンネルでは、本会議の様を翌日に放送します。

【放送予定】

◆初日 9月5日(火) 午後5時30分から
◆一般質問 9月12日(火)~15日(金) 午後5時30分から
※番組の始めに各議員の放送時間帯をお知らせいたします。
◆最終日 9月30日(土) 午後5時30分から

議会報編集委員会



議会活動をお知らせします

平成18年度の編集委員が決まりました